

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1790700064		
法人名	楓の家コーポレーション		
事業所名	グループほーむ はくい楓の家		
所在地	羽咋市寺家町テ48-1番地		
自己評価作成日	平成31年2月2日	評価結果市町村受理日	平成31年3月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	(有)エイワイエイ研究所
所在地	金沢市桂町口45-1
訪問調査日	平成31年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは「自立と共生」を基本理念とし、利用者様一人ひとりの人権を尊重し、その人がその人らしく住み慣れた地域の中で生活していけるように支援しています。「楓の家でよかった」「ここにいれば安心」という声が利用者様、ご家族様から聞かれるように利用者様の思いや希望を理解してケアの検討や接遇に力を入れています。利用者様がこれまでの生活を継続できるように地域の行事の参加や地域住民との交流を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは「自立と共生」を理念として掲げ、利用者個々の「出来る事」を維持・活かせる支援、又、利用者・家族・地域と共に歩む姿勢を重視した運営に取り組んでいる。行動指針には3S(Safety・Service・Speed)を掲げ、管理者を中心に安心・安全で細やかなサービスを迅速に行うことをホーム全体で心掛けている。生活場面では利用者が楽しく穏やかに暮らせるよう、一人ひとりの「したい事」「出来る事」を重視した介護計画(実現可能な目標設定)を作成し、日々の支援に繋げている。家族にも安心してもらえるよう、面会時に近況を詳しく説明したり、利用者個別のかえで便り(写真添付、1ヶ月の様子)を毎月送付している。医療面では複数の医療機関による訪問診療体制を整え、最後まで利用者・家族の希望に沿えるよう重度化・看取りの支援にも取り組んでいる。地域とは開設時より地区行事への参加、祭礼時の獅子舞・神輿招待、住民ボランティアの受け入れ等を通じて積極的に交流を図っている。ホームの納涼祭・総合避難訓練は町会長をはじめとする住民の協力を得て行っている。近年は認知症カフェを毎月公民館で行い、より地域住民との繋がりを深めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～59で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
60	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	67	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
61	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,42)	68	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
62	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:42)	69	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
63	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:40,41)	70	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
64	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:53)	71	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
65	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
66	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		